

# 集団的自衛権

(他国の戦争に参加する「権利」)


# ストップ!

## 勝手に憲法解釈変えて 「海外で戦争する国」に

**こんな犠牲が生まれる!**

日本以外の同盟国は、集団的自衛権の下、アメリカの戦争に参加し…

- ベトナム侵略戦争では韓国から約30万人が派兵され、5000人が犠牲に
- アフガニスタン戦争ではイギリス488人、カナダ158人、フランス86人、ドイツ54人など同盟国で1112人が死亡



**「限定」なんかされない** ← **これが本音です** → **アメリカと“血の同盟”を**

将来は多国籍軍参加もあり得る (5月17日)

まずは限定した事例からスタートし、さらに広げることができる (5月2日)

自衛隊が他国民のために血を流すことになるかもしれない (5月17日)

命令違反は軍法会議で死刑だ!

私が最高責任者だ! 解釈変えちゃホーっと!

軍事同盟は“血の同盟”だ。いまの憲法解釈の下では、自衛隊は米国が攻撃されたときに血を流すことはない (2004年)

石破茂 自民党幹事長

安倍晋三 首相

安倍首相は自分の「お友達」でつく  
る私的諮問機関「安保法制懇」に報告  
を出させ、「いまの憲法の下でも、他  
国の戦争に参加する権利」集団的自  
衛権は行使できる」と、憲法解釈を  
勝手に変更しようとしています。

### 憲法9条を根本から破壊

日本国憲法第9条は「戦争はしな  
い、戦力は持たない」ことを誓いまし  
た。その憲法の下で、他国の戦争に参  
加する「権利」が認められるはずがあ  
りません。歴代自民党政府も、憲法で  
認められるのは、日本が攻撃を受け  
たら反撃する個別的自衛権だけだ。  
集団的自衛権行使のためには憲法改  
定が必要だと言いつつ続けてきました。

憲法改定を国民にはかることもな  
く、憲法解釈を一内閣が勝手に変え  
て、「海外で戦争はしない国」を、「海外で戦争す  
る国」に変えてしまう——まさに憲法で権力をし  
ばる立憲主義の根本からの破壊です。

### 「限定的」? 政府の一存で戦争参加

安倍首相は、集団的自衛権は「我が国の安全に重  
大な影響を及ぼす可能性があるとき」だけに「限  
定」して行使する、などと断言しています。しかし、そ  
の判断は政府に任せられます。地理的限定もあり  
ません。

いったん海外の戦争に日本が参戦してい  
く道が開かれれば、政府の解釈をまた変えて、  
次々とその範囲を拡大できることになっ  
てしまいます。

### いま、声をあげましょう!

アメリカ政府は、集団的自衛権を行使して、  
ベトナム戦争や中南米諸国への軍事介入な  
ど、他国への侵攻をくりかえしてきました。  
他の同盟国は集団的自衛権の名でアメリカ  
の戦争に動員され、多数の青年の命が奪われ  
ました。こうした海外で「殺し殺される」国に  
していいのかが問われています。その道を許  
さないために、いま、声をあげましょう!

★署名を集めています。協力をお願いします!